

# 小出中学校区 9年間の学びの系統性

## ～ 育ちをつなぐ小中連携 ～

令和6年度から魚沼市では、架け橋プログラム（幼児教育と小学校教育を繋ぐ取組）を市内一斉にスタートしました。本紙は、小学校での学びを中学校に円滑に繋ぎ、小出中学校区の子どもたちのよりよい育ちの実現を目指して作成したものです。各発達段階において、どのような経験やスキルを子どもたちに獲得してほしいのか、目安が設定されています。

9年間の学びを可視化することで、学校と家庭・地域が同じ目線で子どもの育ちを見守っていただけるように、本紙がその一助になることを願っています。



### 家庭学習の基本

- テレビなどのメディアを見ずに集中して取り組む。
- 決まったタイミングで取り組もう。
- 丸付け・間違い直しは、自分でやろう。
- 宿題は必ずやろう。
- 学年×10分以上やろう。
- 自主学習にもチャレンジしよう。

### 各学年のノート(令和7年度版)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学生
国語	8→12マス	18マス	10mm方眼リーダーあり		8mm方眼リーダーなし		外国語は 4線の ノート
漢字	84字	84字	120字		150字		
算数	10→14マス	14→17マス	10mm方眼リーダーあり		10mm方眼リーダーなし		
計算ドリル							
社会							
理科							
自学							他教科は 先生の指示 による



## 家庭学習

### <目指す姿>

- 「やらされる勉強」から「自分からやる勉強」へ

### <時間の目安>

1年70分 2年80分 3年90分

### <内容の例>

- ・各教科の宿題
- ・共通課題（受験対策教材など）
- ・自主学习（予習、復習など）

## 筆記用具

- ・筆入れ ・鉛筆またはシャーペン
- ・消しゴム ・赤ペンなどの色ペン
- ・ネームペン ・マーカーペン
- ・定規（分度器機能のないもの）
- ・コンパス

（指示されたときに準備）

## 読書量

月2冊

目安（1冊）  
150  
ページ以上

### 学年×10分

- ・授業の復習・予習
- ・興味のあることへの調べ学習
- ・漢字ドリル、計算ドリルを繰り返し返す
- ・視写

筆入れ（ファスナー型 可）

消しゴム

鉛筆5本程度（Bか2B） 定規

赤・青鉛筆 か 赤・青ペン

マーカーペン

ネームペン（鉛筆キャップ）

月3冊

目安（1冊）  
80～100  
ページ

### 学年×10分

- 家庭学習の習慣をつくる。
- 自学にも定期的に取り組む。
- ・ローマ字日記
- ・都道府県調べ
- ・コンパスアート など

筆入れ（ファスナー型 可）

消しゴム

鉛筆5本程度（Bか2B） 定規

赤・青鉛筆

または 赤・青ボールペン

ネームペン（鉛筆キャップ）

月6冊

目安（1冊）  
50～80  
ページ

### 学年×10分

- 宿題を確実にやる。
- 2年生から少しずつ自学に挑戦する。

筆入れ（箱型）

消しゴム

（匂いなし。よく消えるもの）

鉛筆5本程度（Bか2B）

赤鉛筆・ネームペン

定規（10～15cm）

月8冊

目安（1冊）  
10～50  
ページ

学習の妨げにならない、シンプルで飾り等がないもの



☆スキル・技能  
♪気持ち・姿勢

## 話す

## 聞く

中学生

### <目指す姿>

- ☆自分の考えをもとに、友達の考え方と比較しながら話す。
- ☆資料やデータを基に、理由付けしながら話す。
- ☆場面に応じた敬語を使うことができる。
- ♪聞き手に体を向けて、相手の目を見ながら話す。

### <目指す姿>

- ☆相手の話の内容から大切なことをメモし、共通点や相違点を見付け、自分の考えをまとめる。
- ♪話し手に体を向けて、相手の目を見ながら聞く。

高学年

- ☆友達の考えを繋げながら話す。
- ☆話の構成を工夫しながら、適切な言葉遣いで話す。
- ♪聞き手に体を向けて、聞こえる声で顔をあげて話す。

- ☆自分の意見と比較しながら、相手の意見を聞く。
- ☆話し手の意見に反応しながら聞く。
- ♪話し手に体を向けて、最後まで話を聞く。

中学年

- ☆自分の考えに理由を付けて、丁寧な言葉遣いで話す。
- ☆相手を見ながら、聞こえる声で話す。
- ♪聞き手の反応を確かめながら話す。

- ☆話し手の意見にうなづく。
- ♪話し手に体を向けて、最後まで話を聞く。

低学年

- ☆自分の伝えたいことや考えを最後まではっきりと話す。
- ♪相手を見ながら聞こえる声で話す。

- ☆話し手に体を向ける。
- ♪顔を上げて口を閉じて聞く。



## 書く

### <目指す姿>

- ☆自分の考えを、図や絵、数値を基に、分かりやすく書く。
- ☆要点をまとめ、自分の言葉で考えをまとめる。

## ICT

### <目指す姿>

- ☆表、グラフ、アニメーション等を組み合わせ、適切で効果的なスライドを作成する。
- ♪情報モラルの重要性、著作権や知的財産権などの尊重について理解する。
- ♪ICTの5W1H(いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように)を守り、正しく利用する。

- ☆自分の考えを図や絵を使って書く。
- ☆キーワードを考えながら、ノートに丁寧にまとめる。
- ☆必要な事柄を整理し、構成を意識した文章を書く。
- ♪既習漢字を使って書く。

- ☆複数のスライドやアニメーションを用いてプレゼンテーションをつくる。
- ☆必要な検索ワードを使って、適切な情報を取得できる。

- ☆話し言葉と書き言葉の違いを意識しながら文章を書く。
- ☆語と語、文と文のつながりを意識して、まとまりのある文を書く。
- ♪背筋を伸ばして丁寧な字を書く。

- ☆ローマ字入力ができる。
- ☆写真等の画像データをプレゼンテーション等に用いる。
- ☆必要な検索ワードを考え、情報を取得できる。

- ☆黒板などの字を正しく写す。
- ☆主語述語のつながりがある文を書く。
- ☆マスや枠などからはみ出さないで字を書く。
- ♪鉛筆を正しく持って書く。
- ♪ノートやプリント等を押さえて書く。

- ☆画面タップやスクロール、クリックやドラッグ、アプリの起動等の基本的な操作をすることができる。
- ♪ルールを守って、端末を利用する。